

6月、多くの小学校では運動会等の学校行事、中学校では中体連の大会があります。行事への取組を大切にしながら、集団のまとまりや子ども同士の関係にも気を行き届けましょう。また、取組を振り返る場を工夫し、仲間と力を合わせて取り組む心地よさを実感できるようにしましょう。



<小学校>

子どもにとって快い学級環境づくり
～目指すのは、

個の特性に配慮した『集団学習』～

子どもたちの学び方は、多様です。学級の中どのような学び方の特性をもっている子がいるのかを考え、すべての子どもにとって分かりやすい学習環境を整えましょう。そのうえで、配慮が必要な子の困り感に応じた支援を考えましょう。

例：板書での「集団への指導」「個への配慮」

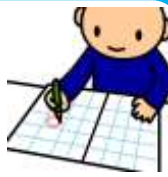
【集団への指導】

⇒マス目のある黒板を利用する。マスのあるノートに統一し、「1行開けて」等、具体的に伝える。



【個への配慮】

⇒子どもによっては、マス目の大きなノートを用意し、書き出しのマスに赤鉛筆で薄く印をする。



「ふわふわ言葉、チクチク言葉」

暴言・暴力のない学級にしたい。
子どもたちがお互いに温かい人間関係を結んでほしい。

こんな願いから、小学校では「ふわふわ言葉、チクチク言葉」を指導することがあります。

ブランクの取り合いになったA君が、友だちに向かって「どげよ!」と言っています。

担任としての声かけは？

パターンⅠ：「A君！それはチクチク言葉だよ」

パターンⅡ：「A君！もし自分がそれを言われたらどう思うかな…？」

パターンⅢ：

➤ あなたならA君にどう声をかけますか。周りの先生方と話題にしてみましよう。

<中学校>

地域のお宝を発見しよう！

地域には、住んでいても知らないことが沢山あります。総合的な学習の時間は、そんな地域のお宝（魅力）を発見するチャンスです。

【期待できる生徒の姿】

- ・地域の魅力を知ること、地域への誇りや愛着が高まります。
- ・地域の人と関わる中で、認めてもらえることも多く自己肯定感が高まります。

地域の魅力を知ったら、それを発信する。また、地域の課題を見つけ解決する。これらを地域の人を巻き込んで活動する。…生徒の成長に合わせて、学習活動を工夫してみましよう。



読みたくなる生活ノートのコメントは？

生活ノートのやりとりは生徒とつながる貴重な場。そこで、生活ノートへのコメントでこんな工夫はどうでしょうか。

「あなたのことを見ていますよ」というメッセージを届けましよう。特に「称賛」「勇気付け」「アドバイス」の3つが、生徒がもらって嬉しい言葉です。

教科担任や部活動顧問から聞いた、頑張っている姿を伝えましよう。応援に行けなくても、週末の大会の様子を担当が知っていることは励みになります。



語尾を「です」「ます」の言い切りから「ですな」と変えてみたり、青ペンを使ってみたりすることで、共感のメッセージとなったり、生徒に添削されていると感じさせない効果が生まれたりします。

